

ポンプ車購入で消防力を増強——*

消防施設の増強には、今年度も力を入れました。

消防署にポンプ自動車をさらに一台増やしたほかに、消火栓や給水栓の新設、修繕などを市内の各所で行いました。

また朝日、新郷屋など5か所には、新たに防火水そうを建設する計画で、いま年度内工事を急いでいます。



市民の経済不安をカバー

インフレ・不況は、中小企業者たちに不安をつのらせた。そこで少しでも経営の手助けをと、今年度から金融制度の貸付け限度額引上げや資金運用枠を広げ、利用してもらいました。

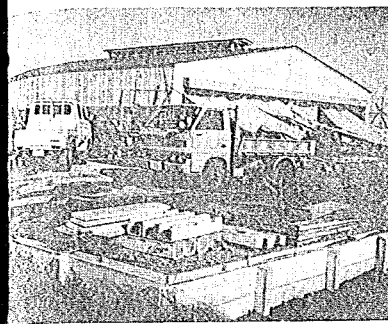
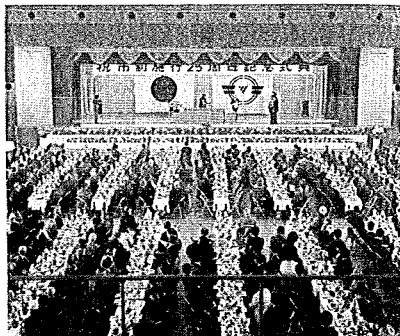
勤労者には、住宅貸付金の利子補給のほか、福祉共済事業も活発に行って会員たちから喜ばれました。

奨学金など市制25周年を記念した制度化事業——*

市制施行25周年の記念すべき年にちなみ、将来の発展に目を向けたいろいろな記念事業を計画して実施しました。

市民からの参加を募った記念式典をはじめ、市民憲章の制定、奨学金や青年婦人の国内派遣事業の制度化、あるいは今昔を収録した記念グラフの発行、そしてこれからの都市づくりに資する作文・論文・創造画の募集などがそれぞれです。

新津市は、この25周年を契機に「豊かさあるまち」へ一歩一歩前進を進めています。



近く運転を開始—たい肥センター——*

農家経営を助けるために市では、生産組織の育成や稲作のための土づくりなど、いろいろな事業を進めています。

今年度から2か年計画で家畜のし尿を処理して、そのたい肥を地力に増進させる事業もその一つです。

今年度は、たい肥センターの建設と稲わら収集機などの機械導入をはかって、いよいよ近く一部運転も始める予定です。

市民の健康管理も進めました——*

成人病などの各種検査や予防接種費用を扶助、負担して、市民の健康管理を進めました。

また今年度は、助産費給付を4万円から5万円に上げたほか、病院に常設ベット3床分をお願いして、救急医療体制も整えました。



市独自で福祉のワクを広げています——*

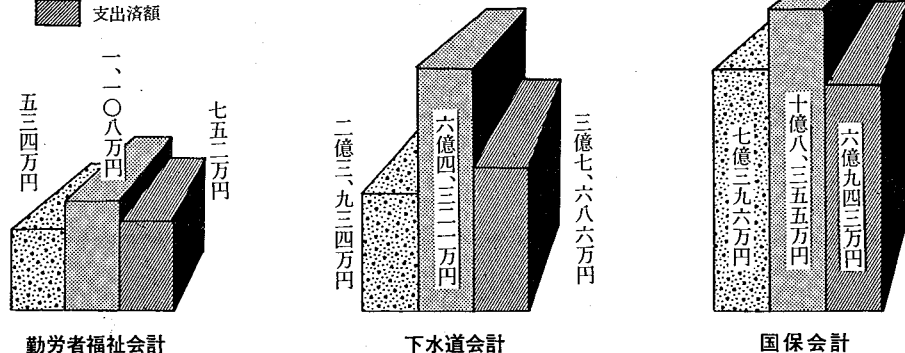
お年寄りや心身障害者の福祉と健康に努力を払いました。

とくにわたき老人の寝具の消毒かんそうや、ワクを広げた重度心身障害者の医療費無料化、心身障害者を扶養している人の共済掛け金助成、あるいは遺児手当の支給など、今年も市独自で行って福祉を盛上げました。

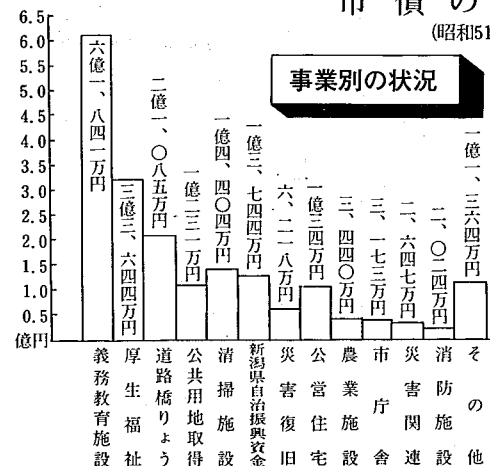


昭和51年度予算執行状況 (昭和51.12.31日現在) (特別会計)

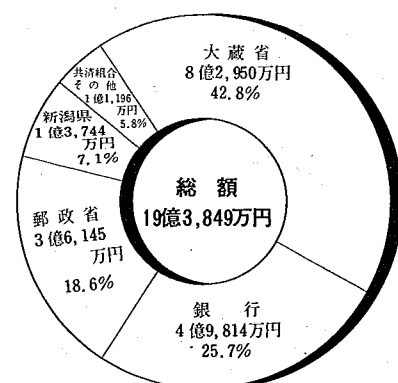
予算額
収入済額
支出済額



市債の現在高 (昭和51.12.31現在)



借入先の状況



お買物、ご用命は市内で

看板・車文字専門

技術本位………
有限会社

二本看板

新津市本町1 TEL (2) 1380

新入生募集

昼・夜間部 入学日…毎月初め

ドレスメーカー女学院認可校

新津ドレスメーカー

善道町2 TEL (2) 3066

お買物、ご用命は市内で

家の増・改築に

電話のことを忘れていませんか?

工事予約はお早めに!

新津電報電話局 (お問い合わせは4-1000へ)

